

会議名	第1回厚木市観光振興推進委員会
日時	平成29年6月26日(月)15時00分～16時30分
場所	アミューあつぎ7階 ルーム702
出席者	出席者 15人 厚木市観光振興推進委員会委員9人 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主任) オブザーバー2人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事、事務局長)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会

2 挨拶 小林市長

本日は、お忙しい中を出席いただき、誠にありがとうございます。

この度、厚木市観光振興推進委員会の委員をお引き受けいただきお礼申し上げます。

平成28年厚木市の延べ観光客数は337万人であり、観光に対するお客様のニーズも千差万別であることから、おもてなしやサービス、さらに特徴あるものに取り組んでいくことが必要であると感じています。

そうした中で、昨年度、厚木市観光振興計画を改定いたしました。産業マスタープランを始め、商業まちづくり計画、ロボット産業推進計画、それと観光振興計画の4つの計画を同時に進めていく中で、大きな働きを期待できるのが観光であると考えます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを考えることも大切なことではありますが、長期的に物事を考えていく必要があり、潜在的にある本市の良さをもう一度掘り起こし、新たなものを取り入れていくことも必要ではないかと思えます。

ついては、各分野で御活躍され専門的かつ豊富な知識と経験をお持ちの皆様、様々な角度から貴重な御意見をいただきたいと思います。

委員自己紹介、事務局紹介

3 厚木市観光振興条例及び厚木市観光振興推進委員会並びに厚木市観光振興推進委員会会議等の公開に関するルールについて 説明：事務局

資料1～3に基づき説明。

【意見等】

特になし。

4 案 件

(1) 委員長及び職務代理の選出について

委員長及び職務代理を選出。

(2) 厚木市観光振興推進委員会スケジュールについて 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料4に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 第2回会議に「平成29年度事業の実施状況について」とあるが、どのような事業を予定しているのか。

(事務局) 一昨年、大山山頂で実施した「温泉×トレイルフェスタ」及び市内モニターツアーなどを予定している。また、七沢、飯山、本厚木駅等、横方向の移動に対するニーズ調査のためバス輸送などの実証実験を予定している。

(委員長) 第3回会議に「視察」とあるが、視察に行く時間を要し、委員の意見交換の場がなくなるため、第4回の会議を開催する必要があるのではないか。

(事務局) 「視察」の参加状況等を把握して、必要であれば第4回会議を開催する。

(委員) 「視察」については、モニターツアーに参加するという説明があったが、一般のツアー参加者と同行して参加するということか。

(事務局) 確定ではないが、事務局案として一般のツアー参加者と同行して参加することも有効ではないかと考えている。

(3) 厚木市観光振興条例運用状況について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料5に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 「厚木市観光振興条例運用状況について」評価基準が「B」という事業が2事業あるがこの事業については、平成29年度も継続して実施する予定なのか。

(事務局) 平成29年度も継続して事業実施予定と各担当課から報告を受けている。

(委員長) 厚木市観光振興計画事業一覧表の観光関連事業について、各委員から意見や感想を聞きたい。

(委員) 観光振興課が担当課である健康づくり村推進事業「健康づくり大学」については、参加者が年々増加している。増加の要因の一つとして、昨年5月から湘南厚木病院と連携し、健康や予防医学に基づいた体に良い食事を提供していることにあると思う。その食品を摂取すると体にどのような影響・効果があるか、併せて専門家が説明をすることで、多くの参加者から好評を得ている。

(委員長) 継続することで、更に良いものとなると思うので期待したい。

(委員) 七沢では、色々な事業を実施しているが、各実施主体が個別に事業を展開しており、連動性がないのが課題と認識している。七沢観光協会においては、今般部会を発足させ、事業毎の分科会を設置することで、系統立てて事業を展開する体制の整備を進めている。

(委員長) 過去の様々な経験からシステムを変更していくことは、とても良いことだと思う。その他に、先程、事務局の観光関連事業説明の中に、七沢地区の案内看板等の整備を図ったとの報告があったが、昨年ハイカーのガイドを行っていて感じたことはあったか意見を聞きたい。

(委員) 昨年度、あつぎ観光ボランティアガイド協会が実施したガイドツアーの中で、一番人気があったのは、清川村の煤ヶ谷から谷太郎川を経て七沢の不動尻へ向かうハイキングコースのツアーであり、70人の応募があった。人気の秘密は、神奈川県下でも数少な

い溪流を楽しめるハイキングコースであり、自然を体感できる木の橋なども参加者から好評を得ている。都内や横浜など厚木市外からの参加者が多いことも特徴であり、ハイキングと温泉の親和性が非常に高いことから、このような体験ができるフィールドとしての魅力を情報発信することで誘客が図られると考えている。

(4) 平成 29 年度観光振興に係る関連事業について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料 5 に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 平成 29 年度観光振興に係る関連事業の新規事業「手ぶらバーベキュー」の新聞記事を見た。簡単・快適にバーベキューを体験したいという利用者のニーズを捉えた良い企画だと思う。このことについて、厚木市観光協会にこの企画の周知方法などを聞きたい。

(オブザーバー) 「手ぶらバーベキュー」については、7 月 1 日号の厚木市広報 1 面に情報が掲載される。掲載内容は、三川合流点での「手ぶらバーベキュー」と「鮎のつかみ取り」の二本立てで掲載する。実施時期については、8 月 11 日(金)から 27 日(日)の 9 日間と、9 月 9 日(土)から 17 日(日)の 4 日間の合計 13 日間の間で、「手ぶらバーベキュー」に対するニーズ把握のための社会実験として実施する。実施に当たっては、チラシやホームページ等で積極的に情報発信を行う。

(委員長) 都心では、ビルの屋上を活用した「手ぶらバーベキュー」が流行しているが、河川敷での「手ぶらバーベキュー」は、非常に魅力的なので社会実験の実施結果に期待したい。

(委員) バーベキューには、ゴミの問題がある。社会実験を実施する有料エリアから発生するゴミについては問題ないが、その他のエリアから発生したゴミについて何か対策はあるのか。

(オブザーバー) 基本的に発生したゴミは、各自で持ち帰りしてもらうことが前提となる。社会実験で設定する有料エリアから発生したゴミについては処分するが、その他のエリアから発生するゴミの処分は、大きな課題であると考えている。

(委員) ゴミの処分費を徴収して、全面的に有料化にできないのか。

(オブザーバー) 河川敷への出入口が幾つもあり、完全に区切り管理することが難しい状況にある。全面有料化策も含めて、社会実験を通じて検証していきたいと考えている。

(事務局) ゴミの有料化については、近隣の市町村も同じような問題を抱えており、市町村で連携して取り組んでいきたいと考えている。

(委員長) 有料エリアの利用者が、綺麗な場所でバーベキューを実施することにより、その他エリアの利用者に良い刺激を与えることができる。そうすることによって、有料化も実現化しやすくなるのではないかと考えている。続いて、インバウンド推進事業について、何か委員から意見等を聞きたい。本厚木駅周辺ホテルの状況はどうか。

(委員) 本厚木駅周辺ホテルについては、ビジネス客の利用が多く、旅行者の宿泊はほとんど無い状況である。外国人に関しても、ビジネス目的での利用が多い状況である。2～3 人の宿泊で、日曜日にチェックインして土曜日にチェックアウトするケースが多い。

(委員長) 平日の利用者状況はどうか。

- (委員) 平日の利用者状況については、高い稼働率で推移している。
- (委員長) 外国人宿泊者から、どのようなことを尋ねられることが多いか。
- (委員) コンビニエンスストアを始め、ドラッグストア、電気屋やおもちゃ屋の場所を尋ねられることが多い。
- (委員長) 土産目的の店を探す利用者が多いと推測される。インバンド推進事業を進めることにより更なる誘客を期待したい。続いて、温泉旅館の状況を聞きたい。
- (委員) 温泉旅館について、外国人旅行者の宿泊は無い状況である。今抱える問題の一つに、団体利用者専用の大きな部屋が多数あり、少人数の利用者に対応できない現状がある。そういったことから、利用者のニーズを把握し対応できるような宿泊施設の改修等も行いたい課題があり難しい状況である。
- (委員長) 宿泊施設の改修等を進めてもらえるとありがたい。続いて、バスの乗降者について状況を聞きたい。
- (委員) 外国人旅行者の乗降者は無い状況である。しかしながら、土、日のハイキング利用者が増加している。それに伴い、できる範囲でバスの増便運行を実施している。また、国道412号を走行していると、他県ナンバー車両を多く見るようになった。愛川町、宮ヶ瀬関連の問い合わせが多くなっていることから、宮ヶ瀬エリアへの関心の高まりを感じる。
- (委員長) 神奈川中央交通が運行するバス路線は、山奥や細い道など厚木市内全域を走行しているため、有効的に活用して観光につなげていきたい。
- (委員) 都内の愛犬家から、厚木市にペット同伴で入れる施設はあるかと尋ねられることが多くなっている。愛犬家は、移動を苦とせず消費意欲も高いので、観光振興の糸口にならないかと考えている。
- (委員長) 今までこの委員会で、そういう意見がなかったため情報を共有して、愛犬家のニーズを把握するとともに糸口を模索していきたい。話は変わるが、大磯町で少し変わった朝市が毎月第三日曜日に開催されている。朝市においては、行列ができるパン屋さんを始め、マッサージコーナーや手相占いのほか、ドッグランスペースが整備されている。ドッグランスペースがあるおかげで、非常にたくさんの愛犬家で賑わっている。続いて、新規事業で説明があった観光資源体験事業の自転車ラック設置事業については、サイクリストのおもてなしも含めて、自転車が綺麗に並んでいることで厚木市内の景観づくりにもつながる事業なので期待したい。
- (委員) 5月のバラ開花時期に合わせて大手新聞社の取材掲載があり、ひと月で約四万人の来店者があった。例年、バイクや車の団体客が多数来店するが、今年は自転車や愛犬家の来店が目立った。グループで来店するケースが多いので、この来店者を飯山や七沢方面に回遊できないかと考えている。
- (委員長) 飯山や七沢で開催される会議等で情報提供してもらいたい。特に愛犬家は、メジャーな情報よりわんちゃん友達の口コミが大切にされている。各事業者間で連携して事業を展開するのがよいと思う。
- (委員) 厚木市の観光振興を考える際に、よそ者の目は重要であり気付きを与えてくれる。また、比較をして初めて分かることもある。東京、名古屋、大阪の大首都圏から観光協会などの職員と情報交換をすることで、厚木市民の知らない魅力を知ることができる良

い機会になるのではないかと考えている。

(委員長) 第2回の会議に、平成30年度予算の事業提案に関する案件があるので、その時に積極的な提案をしてもらいたいと期待する。

(オブザーバー) 厚木市観光協会としては、委員から意見を聞くとともに、市と連携して具体的に事業を展開していきたいと考えている。

#### 5 その他 議事進行：委員長

(事務局) 第2回の会議は、10月を予定している。平成29年度事業の実施状況について報告するとともに、新年度予算の提案をいただきたいと考えている。

#### 6 閉 会 職務代理